

2022年5月10日

課題名：大腿筋膜グラフトを用いた上方関節包再建術後のグラフト断裂に  
術前後の運動機能が及ぼす影響

◆研究の目的と概要◆

当院では、上方関節包再建術後のグラフト断裂に、手術前後の運動機能が影響するかについて調べています。本研究では、グラフト断裂の減少を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2016年12月から、2020年2月までの間に、修復不可能な腱板断裂と診断され、上方関節包再建術が行われた方。

□研究に使用される情報□

術後のグラフトの状態、手術時の肩関節の状態、手術前と術後3か月時の痛みの強さ、肩関節挙上角度、筋力、最終フォローアップ時の肩関節挙上角度

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 熊代功児

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明